

**高槻市産業・観光振興ビジョン**  
**(令和3年4月～令和13年3月)**

**高 槻 市**

## はじめに

高槻市は、大阪と京都、そして関西のほぼ中央に位置する交通至便な立地条件を始め、35万市民に支えられた豊富な労働人口と、充実した医療機関等の質の高い生活インフラを備えています。

また、国道171号沿道を中心とした大規模製造業の集積と、北摂有数の充実した商業機能等が、産業都市としての魅力を形成しているとともに、「名勝・摂津峡」を始めとした豊かな自然資源のほか、歴史資源や文化等、様々な観光資源を有しています。

このような中、本市では、商業・サービス業、工業、観光の各分野の関係者が協力して本市の産業振興に取り組むための指針として平成25年に「産業振興ビジョン」を策定し、様々な施策・事業を展開することで、魅力あるまちづくりを目指してまいりましたが、策定から8年が経過し、本市の産業やまちづくりを取り巻く状況は大きく変化しています。

特急「はるか」や「サンダーバード」がJR高槻駅に停車するようになったことを始め、新名神高速道路の高槻―神戸間が開通するなど、交通アクセスの充実が図られました。

また、令和3年3月には安満遺跡公園が全面開園し、本市の中心市街地に新たな集客・交流拠点が誕生しました。

一方、令和元年に発生した新型コロナウイルスの感染は全世界に拡大し、産業・観光業界は多大な打撃を被っただけでなく、従来とは違う新しい生活様式への変化が求められています。

このような目まぐるしい状況の変化に対応し、本市の産業・観光がさらに発展していくために、観光振興を産業振興と同格の施策分野として位置付け、従来の施策の成果を踏まえ、商業、工業、観光各分野の課題を整理し、産業と観光を総合的に推進するための計画として「産業・観光振興ビジョン」をこのたび、策定いたしました。

産業・観光振興ビジョンでは「働きたい、訪れたい、にぎわいあふれる街」を基本理念として、「魅力的な高槻市の顔（ウリ）をつくり、知ってもらうこと」をテーマに、顔（ウリ）を「生み出す」、「育てる」、「整える」、「伝える」の4つの観点から施策を打ち出しています。

各分野の課題に応じた施策を積極的に展開することで、商業・工業・観光関係者、支援機関、市民等の連携を深め、産業・観光の振興と、にぎわい創出を図ってまいります。

結びに、本市産業・観光振興施策の推進に向けて、より一層のご理解とご協力をお願いするとともに、ビジョン策定にあたりご尽力いただきました産業振興審議会委員の皆様を始め、貴重なご意見をいただきました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。



令和3年3月

高槻市長 濱田 剛史

# 目 次

第1章：ビジョン策定にあたって	6
1. ビジョン策定の目的と考え方	
2. 名称	
3. 位置付け	
4. 計画期間	
第2章：本市を取り巻く環境	8
1. 外部環境の変動	
2. 内部環境の変動	
3. 市民意識、事業者意識	
第3章：産業振興ビジョン及び観光振興計画の振り返り	33
1. 産業振興ビジョンの振り返り	
2. 観光振興計画の振り返り	
第4章：産業・観光の課題	37
1. 課題整理の視点	
2. 分野別の課題	
第5章：基本理念と基本目標	49
第6章：将来像実現のための施策と目標指標	50
1. 目指す将来像と全体の目標達成指標	
2. 商業分野の振興	
3. 工業分野の振興	
4. 観光分野の振興	
5. 取組の成果指標一覧	
第7章：産業・観光振興ビジョンの推進体制	69
1. ビジョンの進捗管理	
2. 実施計画及び目標見直しのスケジュール	
3. 今後の推進体制	

参考資料：

1. 基礎調査資料	71
(1) 市民意識調査	
(2) 商業事業者意向調査	
(3) 製造業事業者意向調査	
(4) 市外住民意識調査	
2. 試行的観光プロモーション	118
3. 新型コロナウイルス感染症等による産業・観光への影響	131
4. 用語解説	134